

概ね
55歳未満対象
企業実習付
コース

電気設備施工科

就職率

令和6年度

88.9%

令和5年度

100%

\\ こんな方におすすめ! //

主な就職先・職種（実績）

- 電気工事会社（電気工事士）
- 建築会社（営業、施工管理）
- 設備工事会社（空調、消防）
- 太陽光発電設備工事会社（設置、点検）

求人票等記載例

電気工事士、電気工事作業員、電気工事技術者、電気設備の保守管理など

訓練受講中に取得できる資格

- ・ 低圧電気取扱業務に係る特別教育

任意で取得可能な資格

- ・ 第二種電気工事士
- ・ 消防設備士乙種第4類

- ✓ 電気工事会社での企業実習を通して、電気の業界で働けるか挑戦してみたい方
- ✓ 電気工事の仕事に就きたいと考えている方
- ✓ 電気を取り扱う仕事全般を考えている方で、正しい電気の知識を身につけたい方

仕事の詳細は

こちらからチェック!

電気工事士



出典：job tag 厚生労働省職業情報提供サイト（日本版 O-NET）

訓練概要

電気設備施工科の最大の特徴は、「電気工事会社での企業実習」です。実務において必要な関連知識や技能について習得します。そのために、施設内訓練では電気の基礎、測定器の使用方法、各種電気工事、空調・消防・太陽光発電設備、CADによる作図などを学びます。

訓練内容

1 電気工事の基礎



電気工事の基礎から学び、工具や測定器の使用方法、ケーブル工事や電線管工事等の各種電気工事を習得します。また、付随する知識として空調設備、消防設備、太陽光発電設備についても実習を通して学びます。

2 住宅電気配線



3 住宅電気設備



4 情報活用・CAD活用

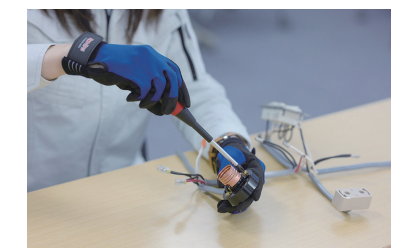


5 企業実習



電気工事の実技以外にも、パソコンを用いた書類作成や作図について習得します。また、企業実習（18日間（1日8時間））では、実際の業務において必要な知識や技能について習得します。実習における課題や疑問点はフォローアップ訓練で学びます。

6 フォローアップ訓練



受講生の声

20代 男性

受講した感想

電気の基礎、消防設備、空調施工など幅広い分野を学ぶことができました。企業実習で気になる会社や職種を経験できるのは、電気設備施工科だけのメリットだと思います。

これから受講しようとしている人へのメッセージ

電気工事や電気設備などの仕事に興味を持たれている方、6か月かけてじっくり就職を決めたい方におすすめです。

➡ 修了生の活躍事例は p17 へ!

指導員からのメッセージ

電気工事の業界は、経験者採用が多い職種ですが、若年者（～35歳程度）であれば、未経験者であっても採用されています。実際に多くの受講生の方々が、企業実習先に就職しています。企業実習を通して、「電気の業界で働けるのか挑戦してみたい」、「仕事に対する自身の適性を知りたい」という方は、「電気設備施工科」をご検討ください。

※1 1か月目はビジネススキル講習、2か月目から本訓練を実施します。

※2 定員数は、7か月コースの応募状況により、翌月の6か月コースの募集人数が変更される場合があります。

※3 既にお持ちのテキストがある場合でも、購入していただきます。テキスト代は変動する場合があります。

※4 作業服等の詳細については、合格通知時に送付する書面でご確認ください。

企業実習付コース | 受講の留意点

- ① 受講申込前までに、ハローワーク等でキャリアコンサルティングを受け、訓練開始日までにジョブ・カードを作成する必要があります。
- ② 実習先企業は受講生の希望を考慮しますが、必ずしも希望どおりになるとは限りませんのでご承知ください。なお、企業実習を受講しない場合には、修了要件を満たさないばかりでなく、退所いただく場合があります。
- ③ 実習先企業には、受講生の最低限の個人情報を提供させていただきます。また、受講生には実習中に知れた業務上の秘密の遵守をお願いしています（同意書を提出していただきます）。
- ④ 万が一の事故・賠償責任に備えて職業訓練生総合保険に加入していただきます（約6,000円）。
- ⑤ 企業実習期間中の訓練時間は、原則、実習先企業の就業時間になりますので、あらかじめご了承ください。